

# NY マーケットレポート (2021年6月10日)

## 2021年6月10日 (木)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%
日経平均	28,958.56	+97.76	5.52%
ハンセン指数	28,738.88	-3.75	5.54%
上海総合	3,610.86	+19.46	3.97%
韓国総合	3,224.64	+8.46	12.22%
豪ASX200	7,302.50	+32.30	10.86%
シンガポールST	3,162.50	+9.03	11.21%
インドSENSEX	52,300.47	+358.83	9.53%

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	109.31	109.80	109.31
EUR/JPY	133.07	133.76	133.05
GBP/JPY	154.96	155.21	154.14
AUD/JPY	84.74	85.02	84.63
EUR/USD	1.2174	1.2195	1.2144
BRL/JPY	21.458	21.628	21.372
RUB/JPY	1.515	1.519	1.502

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%
英FT100	7,088.18	+7.17	9.72%
仏CAC40	6,546.49	-16.96	17.92%
独DAX	15,571.22	-9.92	13.50%
スペインIBX35	9,133.80	-22.30	13.13%
イタリアFTSE MIB	25,638.19	-103.56	15.32%
トルコ・イスタンブール100	1,559.53	+9.55	5.61%
ロシアRTS	1,677.36	+2.61	20.89%
南ア全株指数	67,542.84	-138.63	13.69%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1896.40	+0.90	-0.17%
NY 原油	70.29	+0.33	44.54%
CBOTコーン	616.50	+6.75	27.57%
CRB指数	212.186	+1.020	26.45%
ドル指数先物	90.075	-0.045	0.15%
VIX指数	16.10	-1.79	-29.23%

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	34,466.24	+19.10	12.61%
S&P500	4,239.18	+19.63	12.86%
NASDAQ	14,020.33	+108.58	8.78%

南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	20,049.47	+47.20	15.01%
メキシコ・ボルサ指数	50,886.34	+63.04	15.48%
ブラジル・ボベスパ指数	130,076.20	+169.40	9.29%

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	36455	36400
Ripple(XRP)【BSTP】	0.868	0.878
Ethereum【BSTP】	2467.12	2564.70
Bitcoin Cash	601.19	620.85

オセアニア国債利回り	本日	前日
オーストラリア10年債	1.497%	1.580%
ニュージーランド10年債	1.707%	1.895%

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.121%	-0.117%
10年債	0.055%	0.069%
30年債	0.669%	0.671%

### 6/11 経済指標スケジュール

08:50 【日本】2Q景況判断BSI  
 15:00 【ドイツ】5月生産者物価指数  
 15:00 【英国】4月鉱工業生産  
 15:00 【英国】4月製造業生産高  
 15:00 【英国】4月商品貿易収支  
 15:00 【英国】4月サービス業指数  
 16:00 【トルコ】4月鉱工業生産  
 19:30 【ロシア】6月主要金利  
 20:00 【メキシコ】4月鉱工業生産  
 21:30 【カナダ】1Q設備稼働率  
 22:00 【ロシア】4月貿易収支  
 23:00 【米国】6月ミシガン大学消費者信頼感指数

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.256%	-0.244%
英国 10年債	0.747%	0.730%
フランス 10年債	0.121%	0.120%
イタリア 10年債	0.790%	0.830%
スペイン 10年債	0.390%	0.400%

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.143%	0.155%
10年債	1.432%	1.491%
30年債	2.127%	2.168%

### 6/11 主要会議・講演・その他予定

・G7首脳会議(～13日)

## NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

### 主要な欧州経済指標の結果

欧州中銀 政策金利 0.00%（予想 0.00%・前回 0.00%）

欧州中銀 上限政策金利[限界貸出金利] 0.25%（予想 0.25%・前回 0.25%）

欧州中銀 下限政策金利[中銀預金金利] -0.50%（予想 -0.50%・前回 -0.50%）

### ECB

今年のユーロ圏成長率を 4.6%（従来 4.0%）に引き上げ

今年のインフレ率予測を 1.9%（従来 1.5%）に引き上げ

### ラガルド ECB 総裁の定例会見での発言

- ・インフレ率は今後数カ月上昇する公算大
- ・基調的な物価上昇圧力は依然として弱い
- ・ワクチン接種進展で経済再開が進んだ
- ・インフレ率は予測対象期間では目標値を下回る。
  
- ・コロナ対策の資産購入枠（PEPP）は必要がなければ全額使用しない。
- ・ECB は為替がインフレ見通しに及ぼす影響を監視。
- ・良好な金融環境の維持に必要なら PEPP を再調整。
- ・経済見通しは依然不透明。
  
- ・データは 4-6 月に景気が大きく改善したことを示す
- ・ユーロ圏の成長リスクはいまやほぼ均衡している
- ・景気見通しについて 3 ヶ月前よりも楽観的
- ・PEPP 終了の議論はそのうち、今は尚早

### 米国の主要な経済指標の結果

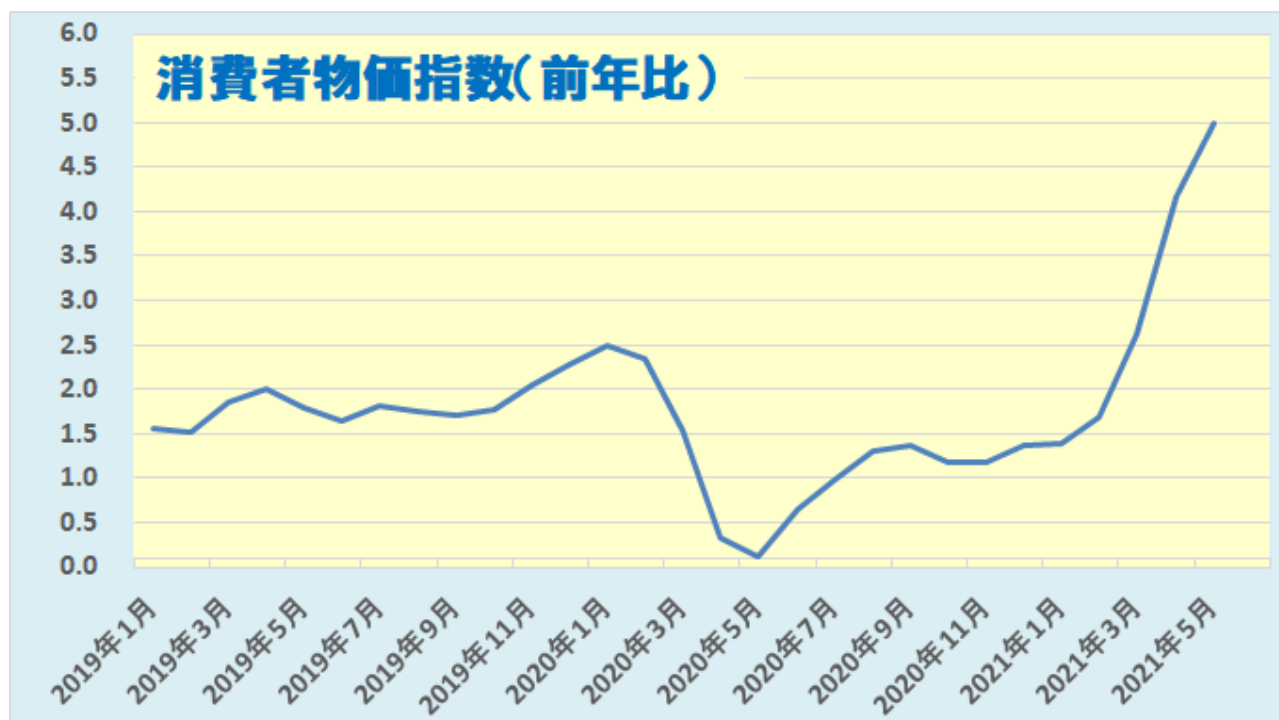
5月消費者物価指数（前月比） 0.6%（予想 0.4%・前回 0.8%）

5月消費者物価指数（前年比） 5.0%（予想 4.7%・前回 4.2%）

5月消費者物価指数[コア]（前月比） 0.7%（予想 0.4%・前回 0.9%）

5月消費者物価指数[コア]（前年比） 3.8%（予想 3.4%・前回 3.0%）

5月の米消費者物価指数は、市場予想を上回る伸びとなり、前年比で上昇率が2008年8月以来、12年9ヵ月ぶりの大きさとなった。原材料価格の上昇、労働者不足などを背景に物価上昇圧力が高まっていることが示された。一方、前月比でも市場予想を上回ったものの、上昇率は前月よりやや縮小した。前年比ベースでは、エネルギー価格が+28.5%となり、ガソリンは+56.2%、中古車は+29.7%、食品は+2.2%となった。

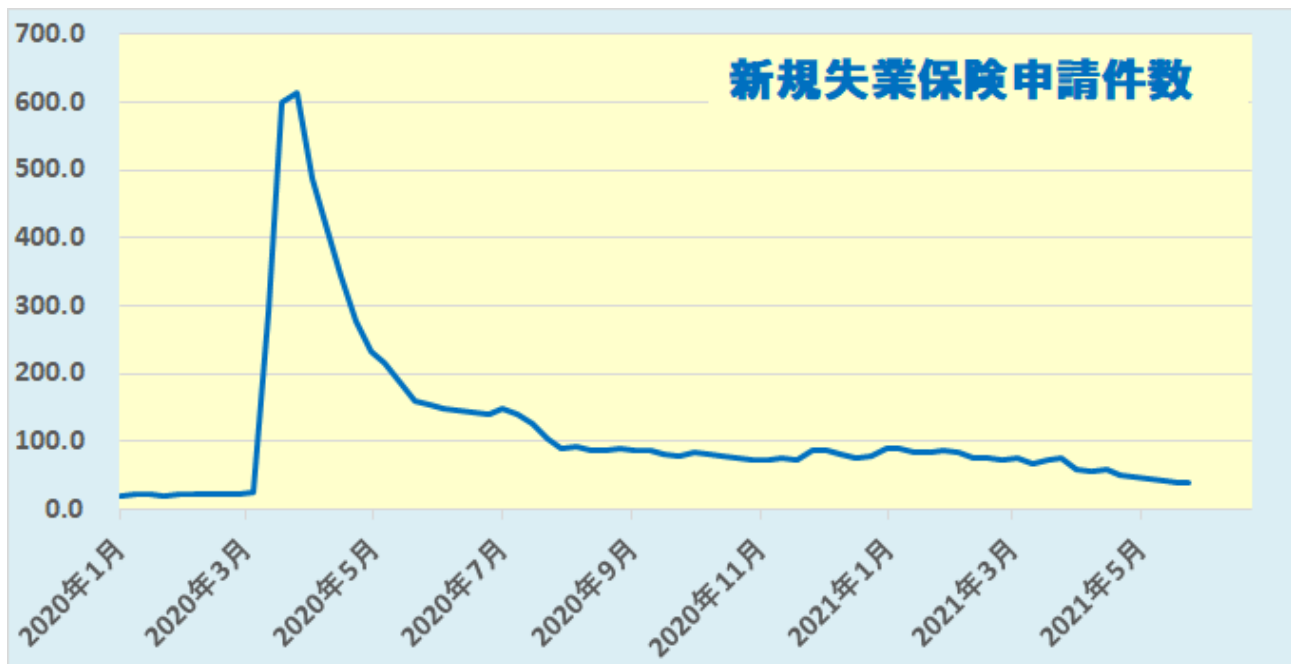


データを基に SBILM が作成

新規失業保険申請件数 37.6 万件（予想 37.0 万件・前回 38.5 万件）

失業保険継続受給者数 349.9 万人（予想 366.5 万人・前回 377.1 万人⇒375.7 万人）

米新規失業保険申請件数（6/5 までの週）は、前週比-0.9 万件と 6 週連続の減少なり、昨年 3/14 までの週以来、約 1 年 3 ヶ月ぶりの低水準となった。新型コロナウイルスワクチンの接種拡大に伴って経済活動再開が進み、雇用改善が進んだことが示された。一方、失業保険継続受給者数（5/29 までの週）は、前週比-25.8 万人と 2 週ぶりに減少した。



データを基に SBILM が作成



データを基に SBILM が作成

## ダウ平均株価は4営業日ぶりに反落

米株式市場では、5月の米消費者物価指数が市場予想を上回ったものの、インフレ加速を警戒するほどではなく、量的緩和策を前倒しする程ではないとの見方が広がり、一旦上昇していた米長期金利が低下したことから、主要株価指数は堅調な展開で始まった。さらに、同時に発表された新規失業保険申請件数は減少したことも押し上げ材料となり、ダウ平均株価は一時前日比290ドル高まで上昇した。ただ、その後は利益確定の動きなどもあり、マイナス圏まで下落する場面があったものの底固い動きが続き、19.10ドル高(+0.06%)で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックは金利低下を受けて108.58ポイント高(+0.78%)で終了した。



データを基にSBILMが作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	消費財	1.36%	1	ウォルグリーンBA	3.52%
2	通信サービス	1.17%	2	メルク	2.84%
3	ヘルスケア	1.03%	3	アムジェン	2.14%
4	テクノロジー	0.85%	4	シスコシステムズ	1.87%
5	エネルギー	0.58%	5	セールスフォースD	1.74%

データを基にSBILMが作成

## ドルは序盤上昇も、その後は主要通貨に対して上値の重い動き

NY 市場では、序盤に発表された 5 月の米消費者物価指数が前年比ベースで 12 年ぶりの高水準となったことや、米新規失業保険申請件数が 6 週連続のマイナスとなり、1 年 3 ヶ月ぶり低水準まで改善したことを好感して、ドルは主要通貨に対して上昇した。さらに、指標結果を受けて、米長期金利の指標となる米 10 年債利回りが 1.533% まで上昇したことから、ドル/円は一時 109.80 まで上昇した。しかし、物価上昇は一時的との見方が広がり、インフレ加速への警戒感が薄れたことから、10 年債利回りが 1.431% まで低下したことから、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなり、対円で 109.31 まで下落した。一方、ECB 理事会後のラガルド総裁の定例会見で、タカ派的な発言を好感してユーロはドルや円に対して上昇したものの、上昇一服後は上値の重い動きとなった。さらに、ドル/円の下落に連れてクロス円も終盤にかけて上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。